― こどもの日にちなんで ―

〔こどもは42万2,601人　　県総人口の14.2%〕

５月５日はこどもの日です。こどもの日にちなんで，こどもの人口に関する統計を取り上げました。なお，０～14歳のいわゆる年少人口を「こども」としました。

こどもの数は42万2,601人，県総人口の14.2% で過去最低

茨城県常住人口調査の結果から，平成18年5月5日現在のこどもの数を推計すると，422,601人となり，県総人口に対する割合は14.2%になります。この数値は人口，割合ともに過去最低となります。

前年同時期の推計に比べると，こどもの人口は6,427人減少し，県の総人口に対する割合も14.3%から0.1ポイント低下しました。

男女別では，男子が217,029人，女子が205,572人で，男子が女子を11,457人上回っています。

表　茨城県のこどもの人口の推計（平成18年５月５日現在）

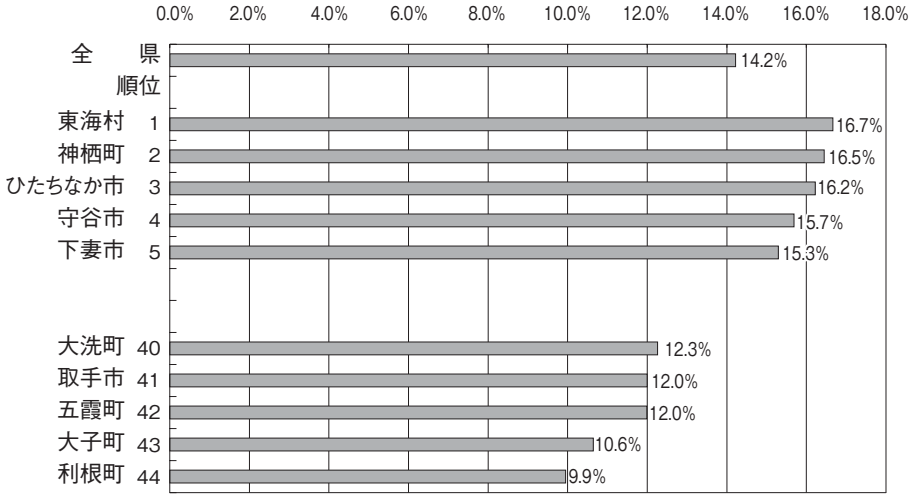
	総　人　口	こどもの人口（0～14歳）	割　　合
男女計	2,971,594人	422,601人	14.2%
男	1,477,785人	217,029人	14.7%
女	1,493,809人	205,572人	13.8%

注）茨城県常住人口調査の結果をもとに推計。

なお，平成18年5月5日現在のこどもの人口割合を市町村別に見ると，県平均を上回っているのは，東海村（16.7%），神栖市（16.5%），ひたちなか市（16.2%），守谷市（15.7%）などです。

他方, 県平均を下回っているのは, 利根町（9.9%）, 大子町（10.6%）, 五霞町（12.0%）, 取手市（12.0%）などです。

図１　市町村別こどもの推計人口割合（平成 18 年５月５日現在）



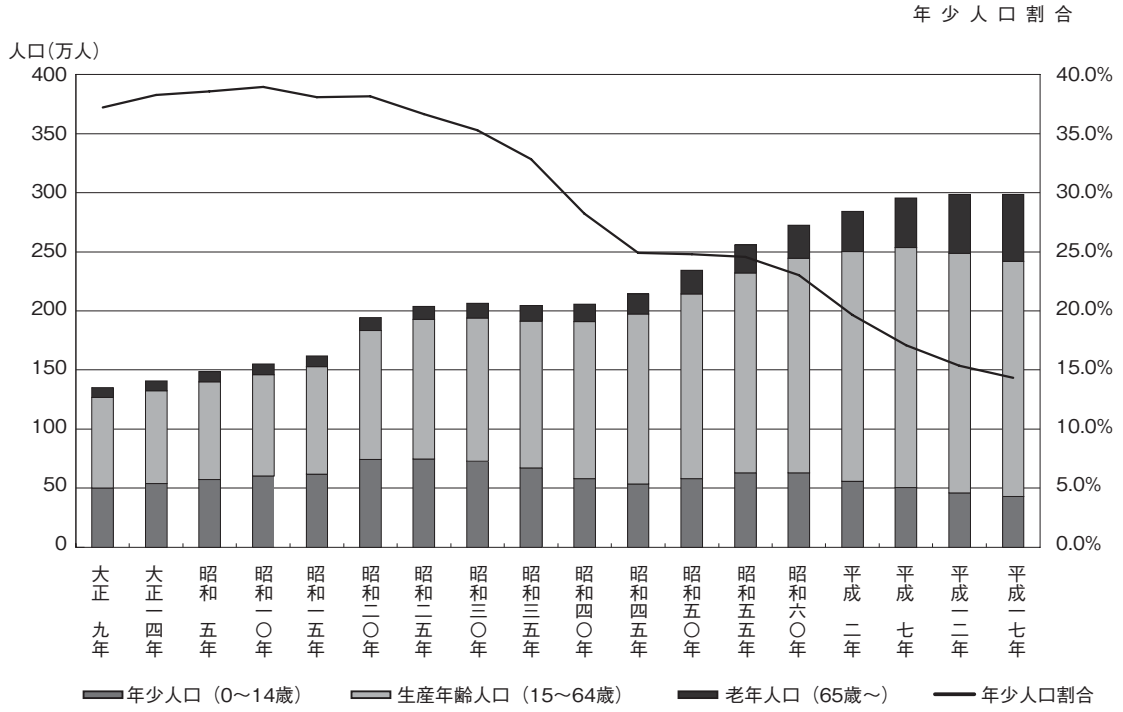
注）茨城県常住人口調査の結果をもとに推計。

こどもの人口割合は昭和10年の38.9% をピークに年々低下

大正９年から５年ごとに行われる国勢調査結果では，こどもの人口割合が，もっとも高かったのは昭和10年の38.9% で，その後，年々低下しています。

平成12年には，こどもの人口が458,501人となり，国勢調査始まって以来初めて50万人を下回り，こどもの人口割合は15.4％まで低下しました。

図２　茨城県の人口の推移（各年10月１日現在）



注）国勢調査結果により作成。（平成17年は茨城県常住人口調査結果 (平成17年７月１日現在) による）

― 茨城県常住人口調査について ―

茨城県常住人口調査は，国勢調査の間における県内各市町村ごとの人口及び世帯の移動状況を明らかにするために，県統計課が実施しているものです。